

# 高花っ子



四日市市立高花平小学校 No.1 1  
令和6年9月27日発行

## 高花っ子の学習状況の傾向は…？ ～「全国学力・学習状況調査」から～

8月に新聞等でも都道府県別に結果が公表されていますが、4月に6年生対象として全国一斉に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果から見えてきた本校の特徴についてお知らせします。

この調査結果からわかるのは子どもの学力の一部であり、学校教育活動の一側面ではありますが、この結果をもとにして、本校の教育活動や学習状況の改善につなげていきます。

### 1. 学力調査からみられる高花平小学校児童の特徴（強みと弱み）

今年度は、「国語」「算数」で調査が実施されました。「強み」と言えるのは、無回答率が全体的に低く、前向きにチャレンジする（「やってみる」）意欲があることです。また、本校児童の平均正答率は、2教科とも全国平均と比べて上回っています。中でも、いくつかの選択肢の中から選んで答える問題の正答率が全国平均と比べて上回っています。

#### 【国語】

児童アンケートからは「国語の勉強は大切だと思う」「国語で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」という質問に「当てはまる」と答えた児童が、全国平均と比べて上回っています。また、「国語の授業の内容はよくわかる」と答えた児童も全国平均を上回っており、授業について肯定的にとらえているようです。

無回答であった問題が、県や全国と比べて少なくなっています。このことから、子どもたちが前向きにチャレンジする（「やってみる」）ことができていると考えられます。

問題形式から見ると、やはり自分の考えを文章で答える記述式の正答率が低くなっています。長い問題文を読んだり、条件に合わせて文章を書いたりすることに今後取り組む必要があります。

また、文中の「主語」「述語」の関係をとらえる問題で正答率が低くなりました。今後、長文の中の言葉の関係についての学習を進め、言葉を正しくとらえる力をつけてほしいと思います。

#### 【算数】

児童アンケートからは「算数が好き」「算数の勉強は大切である」「算数で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」という質問に「当てはまる」と答えた児童が、全国平均と比べてそれぞれ上回っています。また、「算数の授業の内容はよくわかる」と答えた児童も、全国平均を大きく上回っており、国語同様、算数の授業についても肯定的に捉えているようです。

問題形式から見ると、どのような問題でも正答率は全国平均と比べて上回っています。文章で書く記述式の正答率においても、4問中3問で正答率が全国に比べて高くなる等、算数科における書く力は身につけることができているようです。

学習内容の領域で見ると、「図形」は全員が正解した問題もあるなどよく理解しており、全国

平均と比べて上回りました。ただし、「数と計算」について正答率が低くなった問題がありました。単純な計算問題だけでなく、「どうしてこうなるのか」「あるきまり（法則性）をもとにするところなる」といった根拠を明らかにして理解する力が必要です。

今回の調査結果から、子どもたちには筋道を立てて考える力（「論理的思考力」と言います）をつけることが必要であると考えられます。そのためには、問題を正しく把握し、その解決策となる自分の考えと理由（根拠）を明らかにできるようにすることが大切です。

あわせて、自分の考えたことを周りの人に伝える力（表現力）も磨いていきたいと思えます。

## 2. 学習や生活の状況（児童質問紙の結果から）

【全国と比べて肯定解答の割合が高い質問（強み）】

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- ・ 学校に行くのは楽しいと思う
- ・ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

【具体的な特徴】

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という設問では、全員が肯定的な意見となりました。また、「学校に行くのは楽しいと思うか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」という質問にも肯定的な意見が多く、おおむね学校が安心して楽しく過ごせる場所となっていることがわかります。

ただし、「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思えますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思えますか」という質問に対しては、全国平均を下回る結果となりました。周りの人のことを考え、改善する（「よいやりかたを考える」）ような取り組みを学校としてさらに進めていく必要があると思えます。

### 今後の学校の取組は…（学校質問紙への回答結果をもとに）

- ・ 本校の教職員は「夢や目標実現に向けて主体的に行動する子ども」をめざして、将来に役立つ学力を身につけることができるよう、子どもたちが主体的に学ぶ授業づくりに積極的に取り組んでいます。これからも、算数を中心として個々に応じた形（習熟度別学習や一部個別学習）も取り入れて、子どもたちが興味・関心をもって学習できるように取り組んでいきます。
- ・ 日頃から学習規律を子どもたちに定着させながら、落ち着いた雰囲気の中で学習できる環境づくりをこれからも引き続き進めていきます。
- ・ 1人1台端末を使ってのICT活用においては、多種多様な学習に取り組むことができるよう、インターネットから資料を見つけて調べる学習の他にも、基礎学力の定着のためにタブレットドリルを使用したり、授業中の子どもたちの発表内容を交流したりする際に活用しています。また、教職員も授業で子どもたちがICTを学習道具の1つとして自分から進んで学習できるように、研修を進めています。
- ・ 家庭学習では、現在取り組んでいる「プラスワン学習」のように自ら進んで取り組むことができるよう、児童の特性・学習進度に応じた内容の提示等の工夫がさらに必要ととらえています。今後、家庭学習の質を高めるだけでなく、タブレットを使ってできる学習をさらに取り入れていく予定です。

未来を生きる子どもたちに必要な力をつけるために、学校と家庭が協力して取り組むことが大切です。本校の教育活動にご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。